

3 地域公共交通網形成計画の基本方針

3.1 基本方針

上位計画で設定されている定性的目標や、2章で整理した課題解決の方向性を考慮して、以下のように基本方針を設定しました。

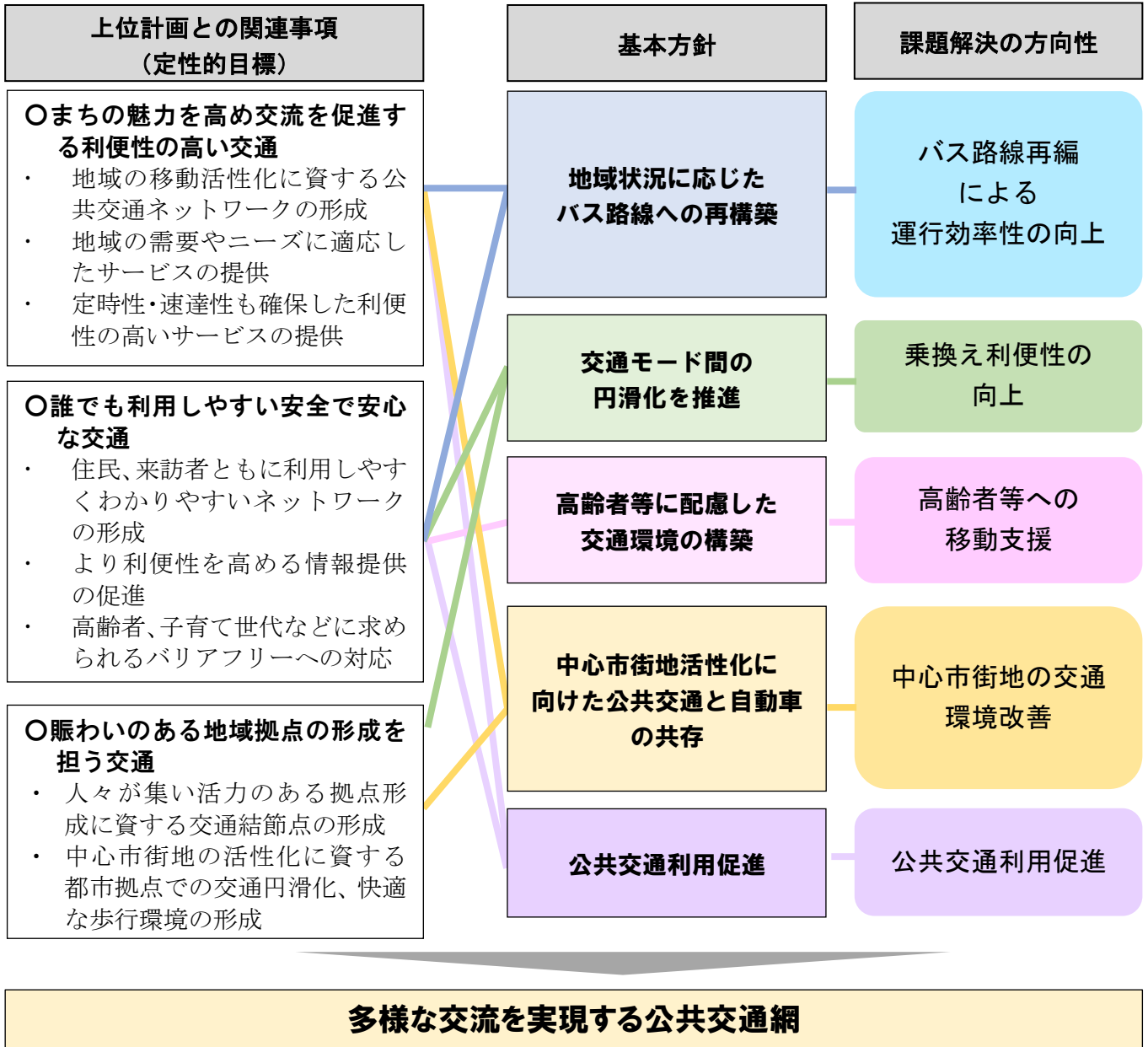


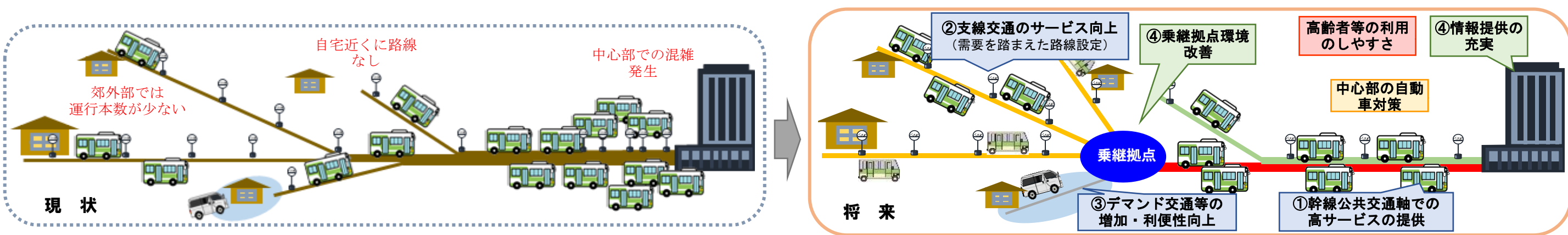
図 3-1 定性的目標と基本方針との関連性

将来のまちづくり計画である柏市立地適正化計画と整合を保ち、都市機能の集積による居住誘導区域への緩やかな居住の誘導を図るため、同区域における公共交通の強化及び利便性の向上を目指します。

3.2 計画の方向性

今後の検討の方向性について具体的な考えを示します。

		検討の方向性	
		短期的	中長期的
地域状況に応じたバス路線への再構築 幹線・支線公共交通 日常生活に根ざした交通	●公共交通軸・支線交通への分離による効率的な運行の検討 ・現在の公共交通の利用実態・運行実態をもとに、幹線、支線交通へと分けサービスレベルを変更する。 <公共交通軸での高サービスの提供〔右下図①〕> ・公共交通軸は都市拠点及びふれあい交流拠点を結ぶ。そのため、高頻度・高速度なバス路線による高サービスの提供を行う。効率的な運行による道路の混雑緩和を図り、定時性を確保する。 <支線交通のサービス向上〔右下図②〕> ・幹線公共交通軸とあわせて、支線交通では、現在利便性の低下している地域について、新たな路線の導入やサービスの向上を図り、幹線公共交通軸や最寄駅へのアクセス性を確保する。	●より輸送力の高い公共交通サービスの検討 ・需要量にあわせて、より輸送力の高い公共交通サービスの提供を行う。  	
	●デマンド交通等の増加・利便性向上〔右下図③〕 ・現在運行している、「かしわ乗合ジャンボタクシー」「カシワニクル」の運行時間や頻度等のサービス改善を図る。 ・周知活動の徹底により、より利用される公共交通とする。 	●支線交通の更なるサービスの向上 ・幹線交通の効率化や地域の人口、高齢化の状況に対応し支線交通についても見直し、サービスの向上を図る。 ・また、既存空地等のストックを有効的に活用した運行路線の設定を行う。	
高齢者等に配慮した交通環境の構築	●利便性・安全性に考慮した利用しやすさの向上 ・ノンステップバスの導入等のバリアフリー対応による利用しやすさの向上を図る。 ・利用しやすさ、利便性の向上とともに、安全性から自動車からの転換を促進する。 ・公共交通の利用促進に向けた支援制度を検討する。	●支線交通との役割分担による路線の見直し ・道路の整備状況等も考慮し、支線交通の状況や高齢化にあわせて、新たに運行が必要となる箇所を整理し、必要に見合ったサービスを提供する。	
中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存	●中心市街地における交通の円滑化 ・柏駅周辺基本構想(カシワセントラルグランドデザイン)と整合を図りながら対策を推進する。	●移動手段の確保 ・車両、交通結節点ともにバリアフリー化を進める。 ・「かしわ乗合ジャンボタクシー」「カシワニクル」等のデマンド交通を活用した移動手段の確保を図る。 ・福祉サービスとの連携により移動手段の確保を図る。	
交通モード間の円滑化を推進 「交通モード間の円滑化：交通手段間(例えば鉄道とバス、バス同士、バスと自転車等)の乗換えにおいて抵抗がなく、スムーズに移動できる状況へと改善すること」	●乗継拠点の環境改善・情報提供の充実〔右下図④〕 ・公共交通軸・支線交通の乗継拠点となる箇所では快適な乗継環境の提供を行う。 ・来訪者へも配慮し、駅等の主要拠点では公共交通の乗換え情報、運行情報についてわかりやすく提示する。 ・ハード面での整備のみならず、インターネットやアプリ等を活用したソフト的な提供方法の充実も検討する。 ・また、事業者間での情報一元管理についても検討を進める。 	●中心市街地における交通の円滑化、道路ネットワークの構築 ・柏駅周辺基本構想(カシワセントラルグランドデザイン)及び柏市都市計画道路等整備プログラムと整合を図りながら対策を推進する。	
公共交通利用促進	●公共交通の周知施策 ・将来自動車を利用することになる児童に対して、バスの乗り方教室を実施する。 ・柏市バス路線マップの作成・配布を継続して実施する。	●拠点でのにぎわいの向上 ・乗継拠点では、乗換環境の改善とあわせて更なる周辺の賑わい向上を図る。 ・駅前広場整備を含めた駅での鉄道とバスの乗継環境を改善する。  	



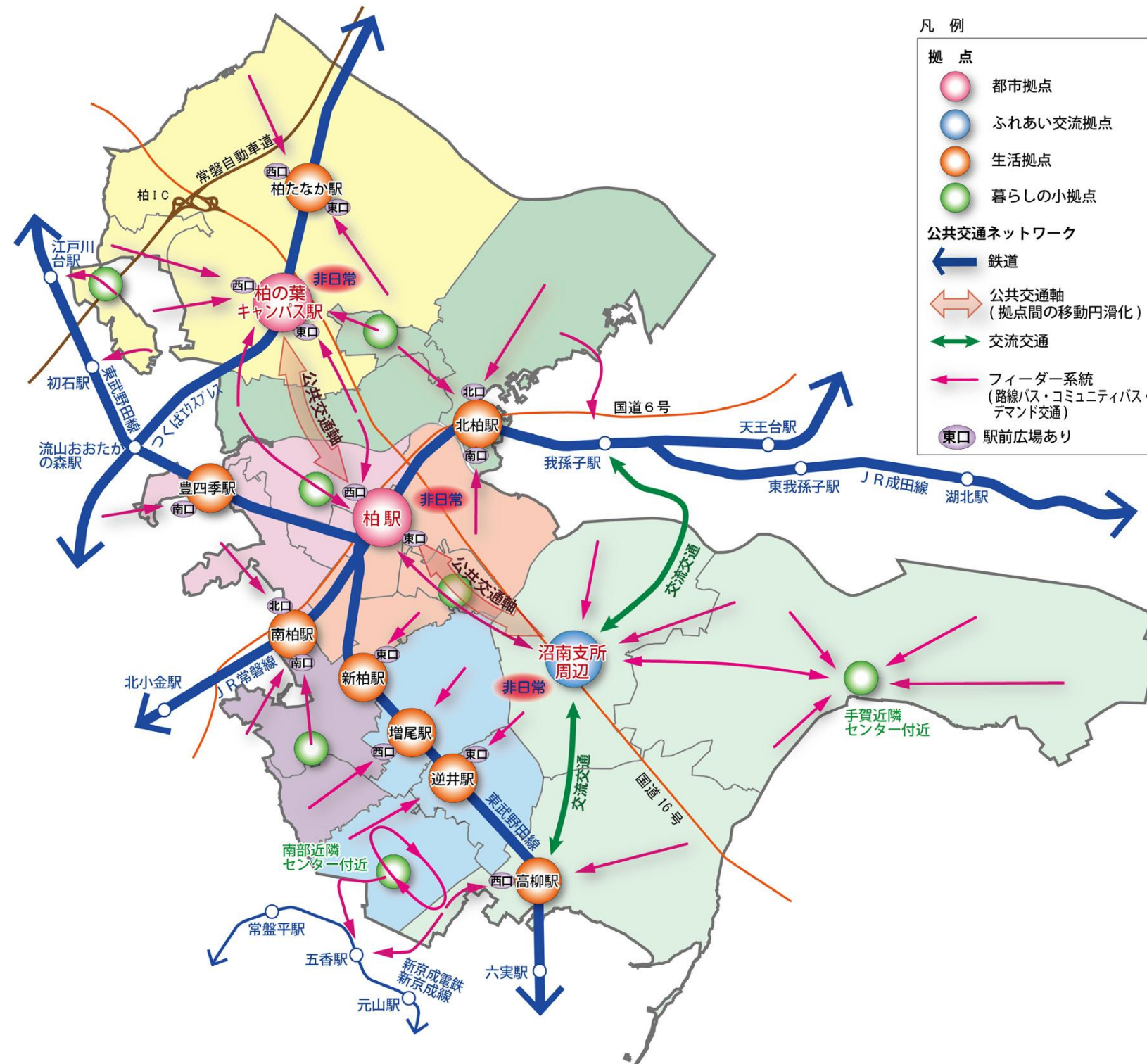
多様な交流を実現する公共交通網形成計画の策定

3.3 目指すべき公共交通ネットワーク

柏市における目指すべき公共交通ネットワークの形成に関しては、上位関連計画において、移動における課題や拠点間の連携、連絡機能整備などに関連して、各計画で整備方針が示されています。特に立地適正化計画では、新しい公共交通ネットワークの整備方針が示されており、上位関連計画における社会状況、交通ネットワークの状況などにおける課題認識を踏まえた、公共交通ネットワーク形成の方向性を長期的な観点で整理しています。

そのため、地域公共交通網形成計画の策定においては、立地適正化計画で示されている公共交通ネットワークの考え方を参考にすることとしました。つまり、拠点間や居住誘導地域を連携、連絡する将来の公共交通ネットワーク形成の考え方を踏まえ、地域公共交通網形成計画における短期及び中長期施策検討での反映を行うこととしました。

なお、立地適正化計画で示されている将来の公共交通ネットワークのイメージは下図の通りです。



出典： 柏市立地適正化計画(2018年4月)

図 3-2 目指すべき公共交通ネットワークのイメージ